

## (b) ニュービスタ管

使用時期	型名 (ニュービスタ)	Tube -番号
1961(S36) ~1969(S44)	<b>2B-H5</b>	<b>-141</b>

Tube- 141:

2B-H5

サンプル・メーカー	日立製作所 (Hitachi)	外形番号	ニュービスタ,T10-01
使用時期	1961(S36)~1969(S44)	初期使用機種	早川電機工業 (TCA-206)
使用回路	MTV:高周波増幅(ニュートロード) CTV:高周波増幅(ニュートロード)	Ef [V] × If [mA]	1.8×600

特徴：高周波増幅3極管、ニュービスタ、 $C_{gp}=0.92\text{pF}$ ,  $G_m=9,800\ \mu\text{mho}$

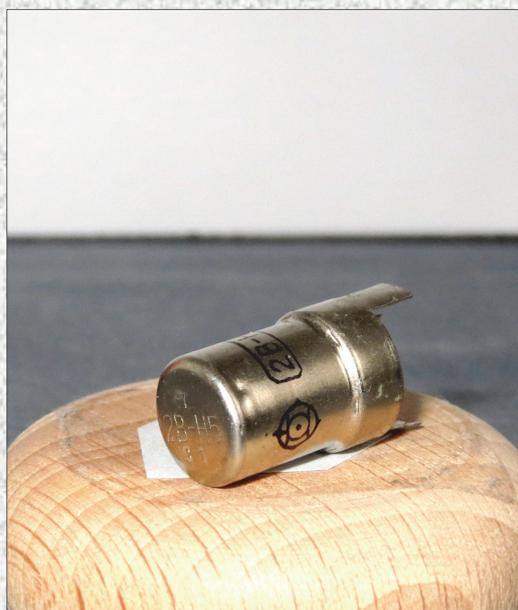
経緯：チューナの小型化を図るために RCA でニュービスタ (6CW4,6DS4) が開発された。ニュービスタは、サブミニチュア管をさらに小型にした大きさであるが、外観は金属製でステムはセラミックである。(2B-H5は6CW4のトランスレス用)

日本では、1961(S36)年に日立製作所が2B-H5や6CW4を国産化した。

(Hitachi Electron Tube Hand Book,1963)



拡大 (脚部)



拡大 (頭部)

Next ↓